

# 安全報告書



2022年度版  
南阿蘇鉄道株式会社

## 1. 利用者はじめ地域の皆様へ

平素より南阿蘇鉄道をご利用頂き有難うございます。熊本地震発災以降、地域の皆さまをはじめ観光利用の皆さまには大変なご不便をおかけしました。南鉄は2023年3月末をもって熊本地震からの災害復旧工事が全て完了し、7年3カ月ぶりに全線において運行を再開させることが出来ました。これまで多くの方々にご支援を賜りましたこと心より深く感謝申し上げます。

さて、2022年度の鉄道事業においては、災害復旧と並行して老朽化車両の更新、JR九州 肥後大津駅までの直通運転に向けた鉄道施設の改修、高森駅、立野駅周辺整備など、震災前より安全かつ利便性の高い運行が出来るよう取り組んで参りました。

本報告書は、2022年度、安全性向上への取り組みなど広くご理解いただくために公表するものです。報告書をもとに皆さまからのお声を輸送の安全に役立てたく、ご意見をお聞かせいただきますと幸いです。

お客さまの安全を最優先とし安全運行の確保の徹底に努めてまいります。今年度もより一層、鉄道施設・車両の保守点検を確実にを行い、各種法令を遵守した安全管理に努め、安心してご利用いただける鉄道を目指して参ります。

南阿蘇鉄道株式会社  
代表取締役社長 草村 大成

## 2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

### (1) 安全基本方針

当社では、安全輸送の確保を第一とし、基本的な方針は次のように掲げ、社長以下、全社員に周知徹底を図っています。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況の理解と確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- ④ 事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑤ 情報は漏れなく敏速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑥ 常に問題意識を持ち、必要な変革に継続的かつ果敢に挑戦します。

### (2) 安全確保のための重点目標

区分	項目	内容
定量的な目標	列車事故（衝突・脱線・火災）	有責事故を発生させない。
	乗客の死傷事故	乗客の死傷事故を発生させない。
	踏切障害事故	踏切故障に伴う事故を発生させない。
定性的な目標	基本動作の確実な実施と事故防止意欲の向上	

年 度	2018	2019	2020	2021	2022
列車事故（衝突・脱線・火災）	0	0	0	0	0
乗客の死傷事故	0	0	0	0	0
踏切障害事故	0	0	0	0	0

(3) 目標に対する実績

3. 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故

2022年度の鉄道運転事故の発生はありませんでした。過去5年間の鉄道運転事故の発生件数と死傷者は次のとおりです。

年 度	2018	2019	2020	2021	2022
事 故 件 数	0	0	0	0	0
死 傷 者	0	0	0	0	0
うち死亡者	0	0	0	0	0

(2) 災害（地震・暴風雨、豪雪などによる鉄道施設への被害）

2022年度は自然災害の発生はありませんでした。2016年4月16日に発生した熊本地震により、立野一中松駅間は復旧工事の為、引き続き運転を休止としました。

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

2022年度は輸送障害発生の影響で列車が運休となり、お客様には大変ご迷惑をおかけしました。内容は次のとおりです。

- ① 7月19日、集中豪雨に伴い、第 B8002 列車～第 B9011 列車までの10本を運休とした。

(4) インシデント（事故の兆候）

2022年度の九州運輸局へのインシデント報告はありませんでした。

(5) 行政指導等

2022年度における行政指導はありませんでした。

#### 4. 輸送の安全確保のための取組み

##### (1) 安全のための施策

安全の維持向上のために、鉄道施設や車両の保守点検整備を計画的に実施しています。2022年度においては、施設面では軌道整備工事を行い、老朽した橋マクラギ50本、並マクラギ100本、PCマクラギ化1320本を実施しました。また踏切保安装置の踏切無警報対策を18箇所実施しました。保安通信設備の無線設備を老朽化に伴い更新を実施しました。車両面では、トロッキ編成車両であるDB16機関車2両の全般検査を実施しました。また老朽化に伴い、MT2000形2両の車両更新を実施し、MT4000形2両導入しました。

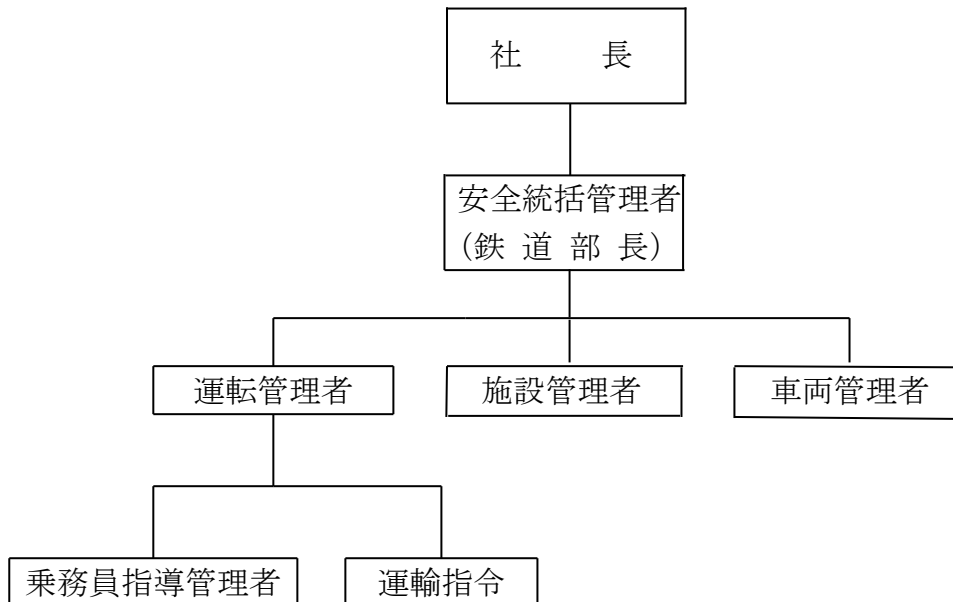
##### (2) 緊急時対応訓練

- ① 毎年、脱線復旧訓練を実施するなかで、緊急時および異常時の対応を訓練しています。
- ② 定期のミーティングにより、全社員に危機管理意識の高揚を行っています。
- ③ 信号および踏切警報遮断機の故障及び異常時の復旧処置訓練。
- ④ 火山噴火時の降灰対応訓練

#### 5. 当社の安全管理体制

##### (1) 安全管理組織

当社では社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者を明確にした上で安全確保のため役割を担っております。



(2) 安全管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	運転に関する事項を統括する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者指揮の下、車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	安全統括管理者指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する。

6. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

<b>南 阿 蘇 鉄 道 株 式 会 社</b>	
TEL 0967-62-0058	FAX 0967-62-0433
E-mail	nantetsu@athena.ocn.ne.jp
■ 月～金 9:00～17:00(祝休日を除く)	